

・支出ともに見込み数字でしかない三月議会で決定するのは時期尚早であるという意見と、平成十八年度は黒字になつたが、将来にわたつて黒字になるとは限らない、インフルエンザ等の流行があればすぐに支出が増え赤字になる。平成十九年度に値下げしても平成二十年度にはそれ以上の値上げをしなければならなくなることも考えられるので、今回繰越金がでれば将来的上昇を避ける意味からも基金として積立を行い国民健康保険会計の安定化を図るべきだという意見でした。質疑をかさねた結果、反対多数で否決されました。

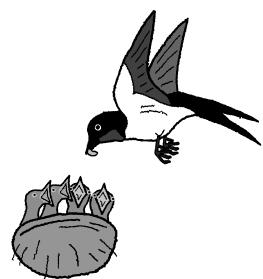
### 予算関係

健康増進課では、母子健診審査・共立湊病院・フッ素洗口等について。福祉事務所では、生活保護費・ほのぼの福祉基金等について。環境対策課では、ゴミ処理の有料化・リサイクル回収・焼却炉の改修等について。教育委員会では放課後こども教室・学校施設の再編整

備・教育予算の増加等について。国保では、滞納問題・レセプト点検・緊急医療それぞれ活発に質疑がなされ、慎重な審査のうえ議決を行ないました。

・健康づくり等について。それぞれ活発に質疑がなされ、慎重な審査のうえ議決を行ないました。

## 建設経済委員会



### 下田市営蓮台寺パーク設置及び管理に関する条例を廃止する条例

蓮台寺パークの存続廃止について、これまで何度もこの議会において議論検討されて来ました。特に平成十八年六月議会ではブー

ル施設の売却費、補償費にそして平成十九年度予算案です。関連する条例改正案一件、委員会に付託された議案は、平成十八年度補正予算と、

新規事業として、上大沢地区市営治山事業に八百一万円、須崎漁港（小白浜地区）小規模局部改良工事に七百九十八万円計上されました。

この度、借地部分の地権者の了解も得られ、正式に蓮台寺パークの廃止条例として議案が出され、やむを得ないものであるとして了承されました。

関連して、補正予算のかで五十m<sup>2</sup>の売却収入五百十七万円、その他全体の施設補償受入金二千四百六十三万円が計上され、外ヶ岡交流館（ベイ・ス

約三千万円という金額が提示され、またブール廢止後の代替機能についても、平成十七年十二月の議会決議をふまえて敷根ブールの活用提案等が有り、議会としても大枠廃止の方向にありました。

予算額は一億三千七十六万三千円で、対前年比二千九百九十七万四千円、実に十八・六%の減額となりました。

下田市が、経済の厳しい状況にある今、観光予算をこれほど削減して良いものかとの意見もありましたが、やむを得ないものとして認めました。

（繰上償還分）八百四十八万円が支出されました。

### 平成十九年度一般会計予算

#### ◎農林水産業費

予算額は二億五千二百九十一万六千円で、前年度予算に比べると一千百六万円四・六%の増額となつています。

予算額は十億二千五百三十六万六千円で、対前年比一億五千三百三十万八千円、十七・六%の増額となりました。

#### ◎土木費

予算額は十六万六千円で、対前年比一億五千三百三十万八千円、十七・六%の増額となりました。

度から指定管理者制度が導入され、指定管理料として一千八百五十五万四千円が計上されました。